

第2回 中東情勢に関する 山梨県経済対策協議会

事業者から寄せられた情報に対する県の対応状況

令和8年6月4日（木）

1. 概況（4月16日～6月2日）

総合相談窓口の相談件数：42件

金融相談窓口の相談件数：41件

2. 総合相談窓口の対応状況

①燃料油等の供給に関すること：9件

⇒関東経済産業局へ情報提供

うち1件は、調達元を特定のうえ国に対して供給確保を要請

主な情報提供内容

油種	情報提供内容
A重油	○焼却燃料としているA重油について、調達元からの供給が困難となっており、このままでは数ヶ月後の操業停止が見込まれる。（供給確保要請）
潤滑油	○切削加工やプレス加工で使用される潤滑油について、入荷の遅れが生じている。

2. 総合相談窓口の対応状況

②石油由来の化学品・製品等の供給に関すること：33件 ⇒関東経済産業局へ情報提供

主な情報提供内容

業種	情報提供内容
製造業	<ul style="list-style-type: none">○金属加工等に使用する有機溶剤について、供給制約や価格高騰により入手が困難になっている。○塗料・シンナー・シート・梱包材・樹脂部品などについて、価格高騰、納期遅延、購入制限が生じている。○タイベック、ニトリル手袋について、材料価格が高騰している。○包装フィルム、ポリ袋、PPシートが品薄となり、入手困難となっている。
卸売・小売業	<ul style="list-style-type: none">○一部の消耗品(ポリ袋等)が品薄となっている。○食品梱包に使用する資材について、供給制約と価格高騰が生じている。
建設業	<ul style="list-style-type: none">○塩ビ管について、まとまった調達ができず、調達元からは納期末定と言われている。○塗料全般に調達が困難となっている。価格も高騰している。
サービス業	<ul style="list-style-type: none">○ビニール手袋について、安価な製品から販売が停止・中止しており、今後は高い製品を買うことになる。

3. 金融相談窓口の対応状況

資金繰りや経営に不安がある事業者に対し、改善に向けた助言や県制度融資の案内を行うとともに、新設した「中東情勢対応枠」（5月18日運用開始）の概要や手続方法についても情報提供

主な相談事例

業種	相談内容
建設業	○メーカーからの設備資材(ユニットバス・システムキッチン)の納入遅延により工事が停止しており、工事代金の請求ができないため、資金繰りに影響が生じている。
建設業	○配管工事に使用する塩ビ管の調達が4月以降滞っていることから、受注済み工事の施工ができず、資金繰りに影響が生じている。
建設業	○塗料等の仕入れの停滞により工事に遅れが生じており、資金繰りに影響が生じている。
製造業	○既存取引先からの包装資材の納入停止により、遠方業者からの調達を余儀なくされている。これに加え、原材料価格の高騰もあり、経営に影響が生じている。